

学院案内

*Toyama Prefectural School
of
Nursing, Midwifery
and
Public Health*



富山県立総合衛生学院

本学院は、保健師助産師看護師法に基づき保健師、助産師及び看護師と、教育職員免許法に基づき養護教諭を養成するための専修学校です。

教育理念

富山県立総合衛生学院は、人間理解と生命尊重の精神を基盤とし、学生一人ひとりの能力・個性を大切に、人々への深い関心と洞察力・判断力・倫理観を備えた健康の担い手として、県民に寄与できる看護職を育成する。

教育目標

保健師、助産師、看護師、養護教諭の養成機関として、教育理念に基づき、それぞれ必要な知識及び技術を修得させるとともに、人々の健康と福祉の増進に貢献できる有能な人材を育成する。

◆**保健学科** 保健師並びに養護教諭としての専門知識及び技術を修得し、地域や学校等において公衆衛生看護活動を主体的に実践できる資質と能力及び国際的視野を持ち、地域社会に貢献する人材を育成する。

◆**助産学科** 助産師として必要な専門知識及び技術を修得し、助産の実践活動を通して自律した能力を持ち、母子や家族の健康及び地域社会に貢献する人材を育成する。

◆**看護学科** 看護師として必要な専門知識及び技術を修得し、看護の実践活動を通して保健医療福祉に貢献する能力をもった人材を育成する。

入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

本学では、上記のような教育理念と教育目標に基づく人材を養成するために、修学に必要な基礎学力に加えて、次のような学生の入学を希望します。

- 1 保健・医療・福祉に貢献するため、自らを高める努力ができる人
- 2 いのちや健康を大切にし、相手を思いやることができる人
- 3 周囲と協調しながら自分の考えを伝え、責任ある行動がとれる人

養成課程

学 科	定 員	修業年限	取得可能な資格・免許
保健学科	25人	1年	●保健師国家試験受験資格 ●養護教諭1種免許 ●労働安全衛生法による衛生管理者免許
助産学科	15人	1年	●助産師国家試験受験資格 ●受胎調節実地指導員資格
看護学科	100人	3年	●専門士（医療専門課程）の称号 ●看護師国家試験受験資格 ●保健師・助産師・養護教諭養成機関受験資格 ●大学編入学試験受験資格 ●社会保険労務士試験受験資格

沿革

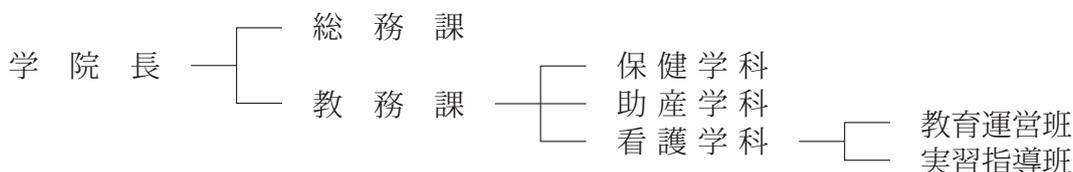
- 昭和26年 保健師助産師看護師法に基づき、富山県立中央病院附属高等看護学院設立
- 昭和39年 保健婦専門学院を併設
- 昭和40年 看護学科に夜間課程を新設
- 昭和40年 養護教諭一種免許状の取得可能な教員養成機関として指定
- 昭和46年 富山県立総合衛生学院に改称
- 昭和49年 助産学科を新設
- 昭和50年 看護学科を第一看護学科と第二看護学科に分科し、4学科制となる。
- 昭和51年 学校教育法に基づく専修学校となる。
- 平成20年 第二看護学科を閉科し、第一看護学科を看護学科に改称し3学科制とした。
- 平成30年 看護学科 学生募集停止

校舎

- 1 本館（研究棟） 鉄筋4階建（職員室、ロッカールーム等）
- 2 教育棟 鉄骨造4階建（教室、実習室、情報処理室、講堂等）
- 3 図書館棟 鉄筋3階建（図書館、交流スペース等）
- 4 エントランス棟 鉄骨造平屋（食堂等）

※校舎は、富山県立大学看護学部と共同で使用します。

組織



必要経費

- 1 入学金は不要です。
- 2 授業料は、月額9,900円です。
- 3 その他、教科書・実習費・校外教育費等の実費が必要です。

奨学金・授業料減免制度

- 1 希望者には下記の貸与制度（選考）があります。
 - (1) 富山県看護学生修学資金貸与制度
 - (2) 富山県奨学資金貸与制度
 - (3) 日本学生支援機構奨学資金
 - (4) 交通遺児育英会奨学資金
 - (5) 市町村が運営する修学資金制度
 - (6) 医療機関が運営する修学資金制度
- 2 学業成績が優秀で経済的理由などにより授業料の納付が困難と認められる者を対象に、授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

保健学科

21世紀の公衆衛生看護に貢献できる
保健師・養護教諭・衛生管理者をめざして



本学科は、保健師・養護教諭を養成しています。新たな時代のニーズに対応できる専門職として知識や技術を修得し、公衆衛生看護活動を主体的に実践できる能力を養うために講義、演習、実習などを組み込んだ総合的なカリキュラムとなっています。

教育内容

●公衆衛生看護・養護に関する科目

公衆衛生看護学概論
公衆衛生看護学管理論
公衆衛生看護学研究
疫学
保健統計
保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
公衆衛生看護学実習
学校保健
養護概説
栄養学（食品学含む）

公衆衛生看護活動論
家族の健康支援論
集団の健康支援論
母子保健活動論
成人期からの保健活動論
精神保健活動論

●教職に関する科目

教育心理学
発達心理学
特別支援教育学概論
教育の制度と経営
教育課程と方法
教育相談(カウンセリングを含む)
養護実習

●一般科目

日本国憲法
保健体育
外国語コミュニケーション
情報リテラシー
経済学

卒業時には、保健師国家試験受験資格、養護教諭1種免許状、労働安全衛生法による衛生管理者の資格を取得できます。

卒業生は、県内外の保健所、市町村、学校、事業所、病院、社会福祉施設などでめざましい活躍をしています。

講義・演習

公衆衛生看護学を学ぶため、県内外の大学等から講師を招き、魅力ある多彩な講義内容となっています。

地域をフィールドにした家庭訪問実習や学生一人ひとりにパソコン等を配備した情報管理の演習等充実した学習を行っています。



学内での演習風景



調査研究

実習

県内の厚生センター・保健所、市町村における保健師活動の実際や小学校・中学校および企業等における学校保健や産業保健の実際について充実した指導体制の中で学びます。



公衆衛生看護学実習～健康相談～



養護実習～保健教育～

その他

養護教諭になるための引率体験としての立山登山もあります。また、日本公衆衛生学会等への参加に併せた研修旅行があります。



立山山麓 登山



研修旅行

助産学科

いのちを慈しむ心と
確かな実践力を備えた助産師をめざして



一人ひとりの対象に寄り添い心のこもった
ケアが提供できることを目標とします！

教育内容

●基礎助産学

助産学概論
性・生殖の形態機能
周産期医学
女性医学
乳幼児の成長発達
母子の健康科学
母子の心理・社会学

●助産診断・技術学

助産診断・技術学Ⅰ～Ⅲ
(妊娠期)(分娩期)(産褥・新生児期)
出産支援論
助産技術特論
家族計画論
健康教育論
女性のライフサイクル支援論

●地域母子保健

地域母子保健Ⅰ・Ⅱ

●助産管理

助産管理Ⅰ・Ⅱ

●助産学研究

●助産学実習

助産診断・技術実習Ⅰ～Ⅲ 地域母子保健実習 助産管理実習

卒業時には、助産師国家試験受験資格が与えられます。また、母体保護法に基づく受胎調節実地指導員の認定講習修了者に認定されます。

卒業生はほとんどが助産師として県内外の病院、診療所等で活躍しています。

講義・演習

助産実践に必要な専門知識・技術を学びます。また、女性の性と生殖の健康課題への支援ができるよう学習します。



超音波診断の演習



新生児蘇生の演習

実習



助産院実習

富山県立中央病院を中心に助産院、保健所で実習をします。

臨床実習では10例の分娩介助を目標に、夜間待機実習を行い分娩に臨みます。一人の女性を受け持ち、妊娠・分娩・産褥・育児期の一貫した継続ケアを学びます。

助産院や地域での実習では、母子保健チームの一員として他職種との連携について学びます。

その他

小学生や地域の方を対象に自ら企画した健康教育を実施します。また、助産学研究ではその展開方法や情報の処理について学びます。学科行事として、課外学習がありクラスの親睦を深めます。



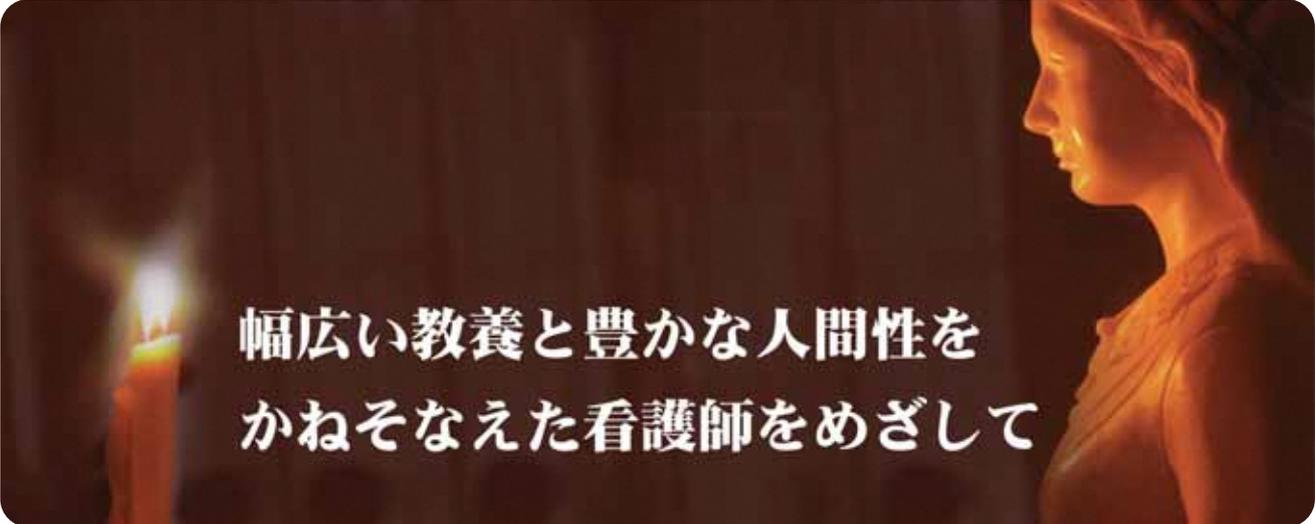
いのちの教室実施



課外学習

看護学科

看護学科は、平成30年度学生の入学をもって学生募集を停止しました。



幅広い教養と豊かな人間性をかねそなえた看護師をめざして

教育内容

論理的・科学的思考、人間と生活

体の仕組み、疾病、社会保障制度

看護の基礎的な考え方や技術

対象に応じた看護の方法

知識・技術を統合した実践力

情報科学
心理学
哲学
生活科学
など

解剖生理学
栄養学
疾病治療論
社会福祉
など

看護学概論
看護技術
など

成人看護学
老年看護学
小児看護学
母性看護学
精神看護学

在宅看護論
災害看護学
国際看護学
など

年間行事

- 4月 入学式
交流会
- 5月 健康診断
特別講演
- 6月 野外研修
厚生センター実習
保育所実習
介護老人福祉施設実習
- 10月 学生交流会
- 11月 中央病院での実習開始
- 2月 看護師国家試験
- 3月 卒業式

進路

【就職状況】

富山県立中央病院、富山大学附属病院、黒部市民病院 等 県内外の病院へ100% 内定しています。

【進学状況】

富山大学、金沢大学等へ編入学、富山県立総合衛生学院（保健学科、助産学科）等へ毎年2～3割の学生が進学しています。



講 義



同じ道を志す100人の仲間と受ける合同講義



看護に必要な基本的知識と技術を学びます。

実 習



実習前は看護技術をしっかりと練習します。



小児病棟実習では子ども会にも参加します。

行 事



学生交流会ではスポーツを楽しみながら先輩・後輩が交流します約1割が男子学生です。



看護の道に進む決意を新たにする戴帽式一人ひとりの頭にナースキャップをいただきます。

学院案内図



交通

① JR富山駅前から地鉄バス 8番のりば

- 中央病院行 約20分 中央病院下車 徒歩3分

② 電鉄富山駅から富山地方鉄道電車利用

- 本線、立山線、不二越・上滝線 各方向行 3分
稲荷町駅下車 徒歩15分
- 不二越・上滝線 南富山經由岩峯寺行 4分
栄町(県立中央病院口)下車 徒歩10分

富山地方鉄道電車・バス問合せ 電話:076-432-3456



近くに駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。

富山県立総合衛生学院

〒930-0975 富山市西長江2丁目2番78号

TEL(076)424-6551(総務課、看護学科)

TEL(076)424-6562(保健学科、助産学科)

FAX(076)424-6545

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1277/>